



LIONS CLUBS INTERNATIONAL DISTRICT 334-A
ICHINOMIYA LIONS CLUB

一宮ライオンズクラブ

国際会長スローガン 「We Serve (われわれは奉仕する)」

一宮LCスローガン 『 奉仕の輪 明るい未来へ ウィ・サーブ 』

第1632回例会

2024~2025

No. 23

例会プログラム

と き 2025年6月11日(水)12:15
ところ 一宮商工会議所ビル3階 大ホール
例会担当 親睦委員会

開会のゴング
国旗に礼
国歌「君が代」斉唱
「ライオンズクラブの歌」斉唱
「ライオンズの誓い」唱和
「クラブスローガン」唱和
会長挨拶
支部結成伝達式
アワード伝達
誕生日のお祝い
各委員会報告及び幹事報告
役員退任挨拶
アテンダンス報告
テールツイスター報告
「また会う日まで」斉唱
ライオンズローア
閉会のゴング

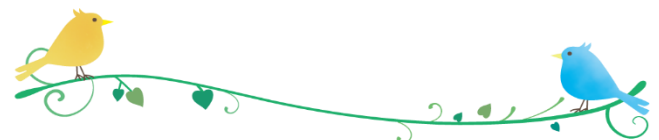
次の理事会 (第24回)

と き 2025年6月25日(水) 16:00
ところ マリエールガーデンバーベナ

次の例会 (第1633回)

最終例会

と き 2025年6月25日(水) 17:00
ところ マリエールガーデンバーベナ
*送迎バス・15時30分発・16時30分出発
一宮駅南側 高架東 時計塔前 (織姫像跡地)



一宮 LC TSUNAGU 支部 結成伝達式

【支部会員】・・・6名

Ｌ 鈴木勇人・・・会長
Ｌ 西野順介・・・幹事
Ｌ 高橋優之・・・会計
Ｌ 倉知敬子・Ｌ 長尾和真・Ｌ 森竜也



▲クラブ支部編成証書



▲クラブ支部結成者感謝状



▲クラブ支部
バナーバッチ



▲クラブ支部
連絡員ラベルピン

334-A 地区 第71回年次大会アワード

◎ライオンズクラブ国際協会アワード◎

【国際会長感謝状】



L 野村政司



L 佐藤彰

【国際会長感謝状 (LCIF)】



L 大山恭範

【LCIF 理事長感謝状】



L 野寄章



一宮ライオンズクラブ

【地区ガバナー感謝状】



L 杉山幸紀夫

◎地区ガバナーアワード

【輝いたでしろう賞】



L 高橋敬 L 久保辰也

【合同アクティビティ賞】



◎6月お誕生日おめでとうございます



6月1日	L 齋藤 真理子
3日	L 小塚 洋範
5日	L 阿部 勇
5日	L 茅根 信夫
6日	L 安井 祥人
12日	L 野々垣聡一郎
17日	L 飯盛 剛弘
21日	L 川添 博幸
25日	L 志賀 龍司

◎役員の皆様1年間ご苦労様でした

指導力育成・出席委員長 L 伊藤 裕彦
会員増強・会則スペシャル
ティクラブ FWT 委員長 L 西尾 建一郎
財務委員長 L 土本 和佳
マーケティング委員長 L 飯盛 剛弘
計画委員長 L 則竹 保利
親睦委員長 L 尾上 宜正
アラート・環境保全
社会福祉委員長 L 坂井田 純子
青少年教育委員長 L 豊島 裕康
LQ・薬物乱用防止委員長 L 古川 竜生
LCIF・国際関係
YCE・レオ委員長 L 酒井 是和
保健委員長 L 大島 基睦

第22回理事会報告

とき 2025年5月28日(水)11:00

ところ 一心

出席者

L 野崎 L 吉江 L 高橋敬 L 久保 L 水野
L 矢田 L 則竹保 L 野村政 L 稲川 L 石黒
L 青山 L 小川 L 飯盛 L 尾上 L 豊島
L 古川 L 酒井 L 大島基 L 古田

議題

1. 334 複合地区第71回年次大会 (5/18) 報告

会長 L 野崎章

名古屋マリオットアソシアホテルにて71回複合年次大会が行われました。

当クラブからは、代議員21名と式典運営協力のメンバーが多数参加されました。

次年度クラブスローガン「熱意と思いやりで We Serve MD はワンチーム」が採用され72回複合年次大会開催地は334-C 地区静岡県静岡市決定いたしました。

2. 6LC 親睦ゴルフ大会 (5/22) 報告

親睦委員長 L 尾上 宜正

レイクグリーン倶楽部にて開催され、6クラブ総勢55名、一宮LCからは21名参加致しました。

雨の心配もありましたが、当日は天候に恵まれ、当クラブのL土本が優勝、L大島が準優勝となりました。又、同日一宮LC親睦ゴルフ大会も並行し行い、優勝L土本、準優勝L大島基睦3位L加藤祐治となりました。

3. 2025年薬物乱用防止推進協議会 (5/22) 報告 次年度ライオンズクエスト薬物乱用防止委員長 L 大野裕充

大野次年度委員長より、6月28日(土)一宮駅10:30~街頭キャンペーン・12月4日(木)テラスウォーク一宮15:30~街頭活動予定、びさいまつりは参加中止の報告がありました。

4. 次期クラブ三役セミナー (5/26) 報告

第1副会長 L 高橋敬

名古屋国際会議場にて開催され、当クラブより、高橋第1副会長・則竹次年度幹事・佐藤次年度会計・事務局酒井さんの4名で参加しました。

来期334-A地区スローガン「動けば変わる! We Serve」、地区ガバナーキーワードとして「不易流行」未来を創るのは今!となりました。

第一部では、L鈴木誓男講師による全体会議があり、第二部では、各役に分かれセミナーが行われました。

5. その他

・七夕まつり(中部経済新聞)広告について

4LCとして、16,500円(各クラブ4,125円の協力)について、当クラブとして承認されました。

・支部結成について

野崎会長より5月14日13時30分より支部会員説明会を行い、L鈴木勇人・L西野翔介・L高橋優之・L長尾和真(リモート出席)参加頂きました。

役員選定では、会長L鈴木勇人・幹事L西野翔介・会計L高橋優之が選任され、その後、承認されたと報告がありました。

支部名は「TSUNAGU支部」とし、支部会員は会長L鈴木勇人・幹事L西野翔介・会計L高橋優之・L倉知敬子・L長尾和真・L森竜也の6名と報告の後、支部結成に関し理事会にて承認されました。

又6月第一例会にて支部メンバー6名を例会に招待することも承認されました。



管工事業

(株)サン・エネルギー・サービス

一宮市今伊勢町本神戸字中道22

TEL (0586) 24-4677

L 矢田 賀也

第 1631 回例会報告

と き 2025 年 5 月 28 日 12 : 15

ところ 一心

初夏の訪れを感じた
5月 28 日、『一
心』さんにて、5 月第
2 例会が開催されまし
た。

池の周りにはしっか
りとした足取りで親ガ
モを追いかける小ガモ
達がとてもかわいかつ
たです。今期一心さん
で例会が開催されるの

は最後ですが、この日は 46 名と多くの皆さんが例会に
参加されていました。

野崎会長の挨拶では、あと今期も残すところ例会が 3 回
となったこと、来週に開催される最終親睦旅行が楽しみ
だとお話されました。

メルビン・ジョーンズ・フェロー・ピンの贈呈、L 水
野より幹事報告が行われた後は、各委員会委員長より退
任あいさつがありました。



退任あいさつがありま
した。

マーケティング委
員長 L 飯盛からは、
来期の下準備として
SNS を立ち上げた
ことが成果だとこの
とでした。

とでした。

計画委員長 L 則竹からは、日帰り例会や家族例会の設
営で様々な経験ができ、協力頂いた周りの方に感謝しか
ないとおっしゃっていました。

親睦委員長 L 尾上からは 6 月 5～6 日に開催される最
終親睦旅行があるので、まだまだ今期が終わるという感
じがないとのことでした。

アラート・環境保全・社会福祉委員長 L 坂井田からは、
医療器具寄贈という形に残る事業を担当できて、とても
思い出になったとのことでした。

青少年教育委員長 L 豊島からは、思っていたより事業
数が多く、毎週のように子ども達と触れ合う機会があっ
たので、大変さより充実感のほうが上回っていたとのこ
とでした。

LQ・薬物乱用防止委
員長 L 古川からは、委員
長は中学生に直接訴える
講師ができないのがさみ
しかったとのことでした。

LCIF・国際関係・レオ
委員長 L 酒井からは委員



会名を自分で理解するところから始まった 1 年で、皆様
の協力をいただけて目標数に達することができたと感謝
の気持ちをおっしゃっていました。

各委員長共通して、各役職をお預けいただきました野
崎会長への感謝に溢れた、達成感を感じることができる
退任あいさつだったと思います。今回退任挨拶のお時間
をいただきました委員長を代表しまして、改めてご協力
いただきました全ての会員の皆様に感謝申し上げます。
1 年間、ありがとうございました。

最後に L 春日井からのアテンダンス報告、L 下田のロ
ーアー斉ののち、野崎会長の閉会のゴングで閉会となり
ました。

アラート・環境保全・社会福祉委員長 坂井田 純子



▲各委員長、お疲れ様でした。

昭和ロイヤルリゾート(株)

一宮市神山 2 丁目 2-23

☎ (0586) 46-7200

L 山 中 一 史

(株)AZA I

一宮市浅井町大野 1 号 32-3

TEL (0586) 78-4343

L 吉 田 日 人



(株)和田建設

小牧市小木 3-108

TEL (0568) 72-9720

L 和 田 剛





国際会長メッセージ

奉仕は地元から始まる

国際会長 ファブリシオ・オリベイラ

ライオンズの皆さんへ

ライオンであることの最大の驚嘆の一つは、私たちの集団的なインパクトは世界全体に及んでいるにもかかわらず、その奉仕は地元、つまりそれぞれの地域社会で始まる、ということです。地域でフードドライブを運営するにしても、清潔な水を提供するにしても、恵まれない人々に手を差し伸べるにしても、私たちが立ち上がるのは気遣いがあるからです。皆さんほど、その暮らしている地域社会を知っている人はいません。皆さんはニーズを見だし、献身と思いやりによってそれを満たしています。

ご自身の足跡(そくせき)をしるす革新的な方法を探しているなら、仲間のライオンズに目を向けてください。ライオン誌で彼らの感動的な活動について読み、ソーシャルメディアで他のクラブをフォローして、彼らのもたらしている変化を確認してください。私たちは互いに学び、共に成長し、そのインパクトを増幅することが出来るのです。

忘れないでください。皆さんの奉仕は人々の暮らしを変えるだけでなく、自分も加わりたいという他者の意欲をかき立てます。引き続き新会員を勧誘し、新たな事業に着手し、変化を生んでいきましょう。世界はいまだかつてないほど、皆さんのようなライオンを必要としています。

奉仕の心で



尾西信用金庫

一宮市筆屋1丁目4番地3号
TEL (0586) 45-1141
L服部 充男

第1631回例会アテンダンス報告

会員数 264名
正会員 104名 賛助会員 12名
特典会員 148名
例会出席対象会員数 116名
出席者 46名(メーク・アップ10名)
出席率 48%

第1631回例会ドネーション・ファイン

合計 69,000円

◎ドネーション

69,000円

◎ファイン

0円

L 野 寄 章	一心で例会ができた喜び	10,000
L 野 村 政 司	複合地区年次大会でお手伝い頂いたお礼	10,000
L 土 本 和 佳	6LC 親睦ゴルフ大会・一宮LC 親睦ゴルフ大会W 優勝した喜び	10,000
L 大 島 基 睦	6LC 親睦ゴルフ大会・一宮LC 親睦ゴルフ大会W 準優勝・バスグロ	10,000
L 水 野 泰 嘉	一心で例会が出来た喜び	5,000
L 高 橋 敬	複合地区年次大会お手伝い頂いたお礼・無事終了出来た喜び	5,000
L 久 保 辰 也	複合地区年次大会お手伝いして頂いたお礼	5,000
L 下 田 心 也	会場利用のお礼	5,000
L 加 藤 祐 治	一宮LC 親睦ゴルフ大会3位	5,000
L 尾 上 宜 正	6LC 親睦ゴルフ大会ベストスコアが出た喜び	3,000
L 岡 寄 か お り	6LC 親睦ゴルフ大会飛び賞	1,000

ドネーション・ファイン累計

2,072,000円



アクサ生命保険株式会社

名古屋市中区錦1-11-11

名古屋インターシティ9F

健康経営
アクサ式

TEL 052-747-5044 FAX 052-211-6651

L 山 田 将 光



吉 江 事 務 所

一宮市花池2丁目25番24号

☎(0586) 43-8827 FAX (0586) 43-8165

L 吉江有希子

活動するライオンズ

大規模災害の発生に備えて「防災かまどベンチ」寄贈

大阪府・八尾ライオンズクラブ

八尾ライオンズクラブ(松本忠賜会長／83人)は3月13日10～14時、久宝寺緑地もくもく元気広場で特別事業「防災かまどベンチ事業」を実施した

当日は防災かまどベンチ4基の寄贈セレモニーや、大規模災害発生時に備えた炊き出し訓練を実施。併せて八尾警察署、八尾市消防本部、陸上自衛隊八尾駐屯地の協力を得て、同広場にパトカーや白バイ、消防車、災害用車両等を展示した。学校法人志紀学園(御喜田俊也理事長)の園児にも参加してもらい、展示車両と記念撮影をしたり、大阪・関西万博のキャラクターであるミyakumaと一緒に「ミyakumaダンス」を踊ったりするなど、約300人が参加するイベントとなった。



本事業を企画するに至ったのには、次のような経緯がある。昨今、全国各地で大規模な自然災害が発生し、危機的な事象がいつ発生するか分からない状況にあることから、八尾ライオンズクラブとして何か出来ることはないかと考えていた。そうした中、能登半島地震の被災地で復興に尽力している地元の方々と直接触れ合う機会を得て、昨年7月にキッチンカーでハンバーガーや弁当を提供する支援活動を実施。改めて普通に食事が出来る「ありがたさ」を実感した。

災害時に本格的な復旧が始まるまでの間、温かい食事を取って落ち着けるような場を提供し、被災者に元気や勇気を与えることは、災害支援を重点分野とする我々ライオンズクラブにとって重要な活動だ。そこで、炊き出しが出来る設備が身近にあれば、役に立つのではないかと考えた。防災かまどベンチ事業は、ただ単に災害時に役立つ設備を作るというだけのものではない。その設置までの過程を通して地域のさまざまな人々とのつながりを強める他、災害発生時の状況を想像させる機会や、訓練の場を作るなど多くの効果が期待出来る。南海トラフ巨大地震発生時の危機が迫る中、一日も早く備えを始めたいという思いもあった。久宝寺緑地は大規模災害時の広域避難場所に指定されている。そこに防災かまどベンチが設置されたと広く知ってもらうことには大きな意義があると考え、寄贈に合わせてイベントを開催することにした。

イベントの第1部は防災かまどベンチの寄贈セレモニーで松本会長と来賓による挨拶、続いて八尾ライオンズクラブから大阪府八尾土木事務所へ防災かまどベンチを寄贈。ベンチの使用開始に際してテープカットを行い、寄贈セレモニーは終了。ベンチ横には設置目的や使用方法を記載した説明プレートを付けており、それを見た人から「防災かまどベンチは、平常時は憩いのベンチとして、災害発生時には炊き出し用のかまどとして活用出来、広域避難場所に指定されている久宝寺緑地への寄贈は素晴らしい事業」と言葉を頂いた。

第2部では、八尾ライオンズクラブのメンバーが大規模災害発生時に備えた炊き出し訓練を実施。イベント参加者に防災かまどベンチを使って調理した豚汁を振る舞った。もくもく元気広場に展示されたパトカーや白バイ消防車、災害用車両等との記念撮影は、子どもたちに大人気。それ以上に盛り上がったのは、ミyakumaと園児による「ミyakumaダンス」だ。元気いっぱいのダンスに参加者は大喜びで、楽しいイベントとなった。

